

生誕110周年

野口久光

シネマ・グラフィックス

2019

4/6(土)・5/12(日)

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日／4/8(月)、15(月)、22(月)、5/7(火)

入館料／一般900円、高大生600円、小中生400円

◎土曜日、5月5日は中学生以下無料

◎20名以上団体は各2割引、

障がい者とその付添者1名は各半額

◎キャンパスメンバーズ制度登録校の学生は無料

◎フォーラム山形野口久光展関連企画

上映会チケット持参の方は100円引き

主催／山形美術館、山形新聞、山形放送

共催／山形県、公益財団法人 山形県生涯学習文化財団

後援／山形市

協力／公益財団法人 川喜多記念映画文化財団、

北原照久コレクション、清水俊宏コレクション、

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭、

フォーラム山形

企画協力／NPO法人 古き良き文化を継承する会

監修／根本隆一郎(NPO法人 古き良き文化を継承する会)

 山形美術館

〒990-0046 山形県山形市大手町1-63
TEL.023-622-3090(代表) FAX.023-622-3145
<http://www.yamagata-art-museum.or.jp>



映画通が涙するあの絵、
あのデザイン……、
シネマとともに

野口久光 デッサン「オードリー・ヘプバーン」

生誕 110周年 野口久光

シネマ・グラフィックス

野口久光(1909-1994)は、1933年東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、映画配給会社・東和商事合資会社(のちの東宝東和)に入社。約30年で1,000枚を超える映画ポスターを制作しました。野口の映画ポスターは、タイトルや俳優の名前まですべて手描きで、作品の雰囲気と内容を豊かに表現した「一枚の絵画」としての魅力に溢れています。『大人は判ってくれない』(1959)監督のフランソワ・トリュフォーは、野口の手による日本版ポスターに感激し、続編のなかに小道具として登場させたという逸話も残っています。

また野口はジャズやミュージカルの評論家としても活躍し、デューク・エリントンやカウント・ベイシーをはじめ、ジャズの巨匠たちと親交し、1983年には日米の音楽文化の橋渡しへの貢献により、ニューオリンズ名誉市民にも選ばれました。

本展では、野口久光が手がけた映画ポスターやその原画、映画スターやジャズプレイヤーのポートレート、デザインを手がけた書籍・雑誌・レコードジャケットなど、約400点の作品・資料を展示。時代を経てもその輝きを失わない野口久光のグラフィック・デザインの世界を紹介します。



「禁じられた遊び」
映画ポスター 1953年



「大人は判ってくれない」
映画ポスター 1960年



原画「旅情」
(1964年日本再上映)

関連イベント

担当学芸員によるギャラリー・トーク
毎週土曜日10:30分～(約30分)
2階ロビーにお集まりください。

大林宣彦監督講演会

●日時/4月27日(土)13:30～ ●会場/山形美術館3階ホール(120席)

野口久光がポスターを手がけた「禁じられた遊び」や「第三の男」など、往年の名作映画に大林宣彦氏が捧げた映画を上映した後、大林宣彦監督から映画をこよなく愛する山形の皆さんにご講演いただきます。

上映作品「思い出は映画とともに」(大林宣彦監督作品/2014年/48分)

聞き手 根本隆一郎氏(NPO法人 古き良き文化を継承する会代表)

※当日展覧会入場者の方は参加無料ですが、整理券が必要です。

当日10:00より館内にて整理券を配布します(先着順)。

展示室にて“予告編映画”を上映

野口久光がポスターを手がけた映画の劇場で上映された予告編映像を厳選し、展示室内で紹介いたします。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2019プレイベント —禁じられた遊び—

10月に開催される山形国際ドキュメンタリー映画祭プレイベントとして、野口久光がポスターを描いた映画を上映し、関連トークを行います。

上映映画「禁じられた遊び」[デジタル・リマスター版]

ルネ・クレマン監督/フランス/1952(日本公開1953/86分)

●日時/2019年4月19日(金)～25日(木) ●料金/前売1,100円

●会場/フォーラム山形 山形市香澄町2-8-1 TEL.023-632-3220

主催/認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 共催/フォーラム山形、山形美術館
問い合わせ/認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局 TEL.023 666 4480

山形美術館
「野口久光
シネマ・グラフィックス」
チケット(半券可)の提示で、
当日料金が
1,200円

同時開催

もっとしりたい山美の魅力 長谷川コレクション × 服部コレクション

重要文化財の与謝蕪村《奥の細道図屏風》をはじめ、渡辺崋山、椿椿山など、江戸から明治にかけて活躍した絵師の優品が揃う長谷川コレクション。芸術の都パリで活躍したルオー、ピカソ、ユトリロ、シャガールに加え、戦後の具象作家らの作品が評判の服部コレクション。当館を代表する二つのコレクションの魅力を紹介いたします。



渡辺崋山
《溪洞野雉図》1837年
④長谷川コレクション

※《奥の細道図屏風》はレプリカ展示となります。



モーリス・ユトリロ《アトリエ座》1925年
服部コレクション



山形美術館への交通案内
◎徒歩/JR山形駅(東口)から徒歩15分
◎バス/JR山形駅(東口)から「天童(荒谷経由)」行、「山寺」行より約5分、美術館前下車徒歩3分
ベニちゃんバス
中心市街地エリア、霞城公園前(中-10)下車 徒歩4分
◎車/山形自動車道「山形蔵王IC」から約15分
●山形美術館北側に無料駐車場がございます
●美術館前広場地下の山形市大手町駐車場は有料です

山形美術館

〒990-0046 山形県山形市大手町1-63
TEL.023-622-3090(代表) FAX.023-622-3145